記者発表資料

平成 29 年 12 月 4 日
国土交通省東北地方整備局
新庄河川事務所
庄内町

庄内町の住民と岩手大が『避難誘導看板』の設置を行います

～地域防災力の強化に向けた取り組み～

近年、局地的な豪雨、台風等により、全国各地で土砂災害等が頻発しています。これらの自然災害から身を守るための取り組みの一つとして、庄内町木の沢地区を対象に「まるごと里ごとハザードマップ」を作成し配布を行いました。

今回、平成 29 年 12 月 9 日（土）に、まるごと里ごとハザードマップにおける取り組みの一環として、避難誘導看板の設置を自主防災会、岩手大学、庄内町と合同で行います。

新庄河川事務所では、地域の住民自らが危険箇所を確認し、土砂災害から身を守るための行動が速やかにとれることを目的に、平成 28 年度から、庄内町木の沢地区を対象に岩手大学及び庄内町とともに「まるごと里ごとハザードマップ」の作成に取り組み、平成 29 年 9 月 16 日（土）に「まるごと里ごとハザードマップ」の配布を行いました。

今回、平成 29 年 12 月 9 日（土）に「まるごと里ごとハザードマップ」における取り組みの一環として避難誘導看板の設置を行います。

記

■実施内容（避難誘導看板の設置）

日　　時 ： 平成 29 年 12 月 9 日（土） 10：00～11：00

集合場所 ： 和郷（わごう）会館（木（き）の沢（さわ）地区）（山形県東田川郡庄内町 肝煎（きもいり））

■参加人員：庄内町木の沢地区自主防災会の代表、岩手大学及び行政側　約 10 名程度

※1）国土交通省では、平成 18 年 7 月から生活空間である市街地に水災にかかる各種情報を洪水関連標識として表示する「まるごとまちごとハザードマップ」（下記参照）を推進しています。これを基に新庄河川事務所では、砂防版として「まるごと里ごとハザードマップ(仮称)」と呼び、避難誘導標識の他に手作りの避難経路図の作成に取り組んでいくものです。

（発表記者先）

山形県政記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会、新庄新聞放送記者会

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　新庄河川事務所

〒996-0071 新庄市小田島町 5－55　TEL 0233（22）0262（調査課直通）

副所長（砂防）　鴫原（しぎはら）　吉隆（よしたか）（内線 205）

調査課長　窪田（くぼた）　敏一（としかず）（内線 351）

庄内町役場

〒999-6601 東田川郡庄内町狩川字大釜 22　TEL 0234（56）3394

総務課　主幹（危機管理担当）齋藤（さいとう）　渉（わたる）

「まるごと里ごとハザードマップ」作成・配布までの取り組について

平成28年度の実施内容

1. 住民説明会



平成28年8月22日（月）
ハザードマップ作成に向けた
事前説明会

2. まちあるき



平成28年9月17日（土）
住民と一緒に歩き、危険箇所、避難経路、
避難場所等を確認

3. 図上検討会



平成28年10月23日（日）
まちあるきの結果を図上で整理
住民と避難時の注意点等について検討

平成29年度の実施内容

4. これまでの検討内容のふりかえり、避難行動等の確認



平成28年7月1日（土）
これまでの検討内容のふりかえりと避難行動
及び避難時携行品等の確認

5. 避難訓練及び避難誘導看板に関する検討



平成29年8月5日（土）
まるごと里ごとハザードマップ検証のため、
避難訓練を実施

6.「まるごと里ごとハザードマップ」の配布



ハザードマップ



ハザードマップ（別紙）

平成29年9月16日（土）
「まるごと里ごとハザードマップ」の配布及び
避難誘導看板の設置位置を確認しました。